

オール沖縄・日本共産党衆議院議員 沖縄1区選出

あかみね政賢 国会だより

月刊 No.12

【九州沖縄ブロック事務所沖縄分室】
〒900-0016 那覇市前島3-1-17
電話.098-862-7521 FAX.098-862-7735

【国会事務所】〒100-8981 千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1107号室
電話.03-3508-7196 FAX.03-3508-3626

うるま陸自訓練場を断念 県民の団結が政府を動かす

木原稔防衛相は4月11日、うるま市石川への陸自訓練場の整備計画を取りやめることを明らかにしました。

党派を超えた県民の団結の力が政府を動かしました。

昨年12月の突然の報道に、住民の反対運動が急速に広が

こうした中、当初は賛否を明らかにしていなかった中村正人うるま市長や自民党派県連も、用地取得を含めた計画断念を求める立場に転換。住民運動と結んだオール沖縄の追及が島ぐるみのたたかひをつくりだし、勝利をかち取りました。



防衛省に要請する「自衛隊訓練場設置計画の断念を求める会」の代表と「うりずんの会」(3月27日)

り、2月には玉城デニー知事が木原氏に、3月には県議会が全会一致の意見書で白紙撤回を要求。県選出野党国会議員でつくる「うりずんの会」も、地元「自衛隊訓練場設置計画の断念を求める会」の代表と防衛省に要請し、衆参の委員会では各議員が毎回のように追及しました。

一方防衛省は、うるま市に代わる新たな候補地の検討を進める方針です。県民の民意を無視し、辺野古の埋め立て土砂の投入も強行しています。党派を超えた島ぐるみのたたかひを発展させ、県民の団結の力で基地のない平和な沖縄を実現しましょう。

沖縄県議選 7名全員の勝利で、自公政権に怒りの 審判を下そう

衆議院議員 赤嶺 政賢

県議会議員選挙が6月7日告示、16日投票で行われる。日本共産党の7人の予定候補者は個性豊かな政治家ばかりだ。玉城デニー県政を支え、道理ある提案で

前進させてきた。岸田自公政権は、県知事の権限を代執行で奪い、辺野古新基地建設を強行し、沖縄を敵基地攻撃の拠点にしようとしている。うるま市石川の陸自訓練場建設は、保

革を超えた団結で計画断念に追い込んだ。沖縄が団結して立ち上がれば、日本の政治は変えられる。今度の選挙は、自公政権に県民の怒りの審判を下す絶好のチャンスだ。デニー県政を支える与党の安定多数の確保のためにも、日本共産党の7議席確保は絶対条件だ。



新学期を迎えて、孫も小学2年生に進級した▼プロック塀を相手に、キャッチボールの練習に余念

がない。元氣よく遊びまわる姿を眺めている瞬間が至福のときだ▼パレスチナのガザ地区では、イスラエル軍の攻撃で、1万3000人以上の子どもが死亡した。親を殺された子どもは、約1万9千人に上る▼4歳の男の子が病床で「お母さんとお父さんはどこにいるの。会いたい」と訴えている。食料や水などの支援物資が届かず、飢餓の危機に直面している。子どもたちには即時停戦が必要だ▼ガザの子どもたちの姿が孫に重なるときもある。子や孫のためにも、憲法9条を守り抜きたい。

この間の活動

■うるま市勝連の第7地对艦ミサイル連隊新編に抗議する集会で挨拶(3月30日)



- 辺野古古代執行の取り消しを求めた沖縄県の上告不受理に抗議する院内集会で挨拶(4月2日)
- キャサリン・ジェーン・フィッシャーさんの展示会・講演会に参加(同6日)
- 沖縄等米軍基地問題議員懇談会で日米地位協定について日弁連と意見交換会(同9日)
- 沖縄県議選の政策発表記者会見に同席、宇栄原婦人会サングワチャーに参加(同13日)
- セナガ美佐雄県議の県政・市政報告会で挨拶。しまぶく恵祐県議の女性の集いで挨拶(同20日)

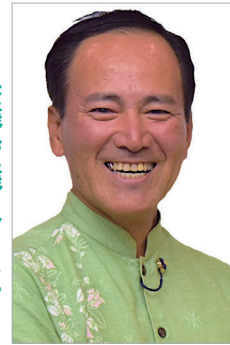


「がんばろう」と唱和する赤嶺議員ら

「沖縄を犠牲にする最高裁の不当な司法判断を乗り越え、新基地建設の断念を求め、声をあげ続けていこう」との集会アピールを拍手で採択しました。

辺野古新基地建設の代執行に抗議する「民意・自治・尊厳を守り抜く4・14県民大会」(「オール沖縄会議」主催)が4月14日、名護市瀬嵩の浜で開かれ、約1800人が集まりました。玉城デニー知事や「うりずんの会」の5名の国会議員、県議会議員なども多数参加しました。

不当な司法判断を乗り越え、声をあげ続けよう



瀬長美佐雄県議

国政と県政をつなぐ(4) 瀬長美佐雄 県議会議員に聞く

——県議会議員として2期8年、取り組んだ案件や実績

1期目は経済労働委員会副委員長として、観光振興など県経済の発展に取り組みました。求め続けてきた世界ウチナーンチュセクター(仮称)もマリントウンへの5年後整備をデニー知事が発表。県系人の「ムートウヤー」整備に海外県人会から大歓迎されています。2期目は文教厚生委員会の委員として、子ども医療費を中学卒業まで窓口無料化、少人数学級を全学年で実施するなど、一歩一歩前進させました。

——赤嶺政賢衆院議員と力を合わせて取り組んだ案件や実績

辺野古新基地問題では、政府交渉で、埋め立ての進捗率14%に対し、執行した

予算額が46%の4312億円に上ることを明らかにさせました。工期も工費もどれだけかかるかわからない新基地建設は断念すべきと訴えています。

国政と県政をつなぐ(5) 上原徳一郎 県議予定候補に聞く



上原徳一郎 予定候補

——予定候補になったきっかけと那覇市役所時代の実績

亡き妻が元気な頃に私を推薦していたことがきっかけで、玉城ノブ子県議から後継者にと要請を受けました。那覇市役所時代は翁長雄志市長の下で、福祉や平和行政、男女共同参画を担当。国民健康保険で、国の交付金算定の誤りを指摘し、5億5000万円取り戻しました。性の多様性を尊重する都市・なは宣言は、当事者の思

——3期目をめざしての決意など聞かせて下さい

玉城デニー県政は、「沖縄を二度と戦場にさせない」と地域外交を推進しています。平和のための改革を超えた共同をつくるために全力で頑張ります。

いに寄り添った内容で、国内で2番目の表明でした。

——実現したい案件、また赤嶺政賢衆院議員と力を合わせて取り組みたい案件など

国民健康保険は、国民の命と健康を守る大事な制度です。市町村に大きな負担がかかっており、国の交付金の増額が必要です。赤嶺議員と力を合わせて頑張ります。

——初挑戦となる県議選への決意など聞かせて下さい

糸満市区は2人区。上原徳一郎さん、玉城ノブ子さんが守ってきた宝の議席です。糸満からデニー知事を支えるために、何としても議席を確保する決意です。